責務は愈よ重大　　　政治処遇案上程の喜び[[1]](#footnote-1)

朝同の國政參を議中の政治処調會は先同調會の會において答申を可決し[、]これにき政府はその体的實現を急ぎつゝあつたが[、]十七日情報発表をもつて政府の政治処議は院の議を終[、]十八日議會に上議を見ることとなつた[。]朝同の処改善が空下の議事に上を見る運びとなつたことは[、]政府をはじめとする各方面の処改善に寄せたを示すものとして二千六百万同にとつても大きなである[。]その体的内を待しつゝ[、]つぎの氏は語る。

李家軫鎬氏（貴族院議員、中樞院顧問）

　私は現在朝鮮におけるたゞ一人の貴族院議員ですが今度の畫期的な政治処遇政府議案の審議をみる議會に病氣のためとはいへ議席に連なることができないのは甚だ殘念です[。]朝鮮が今日の決戰下に物的にも人的にも非常な御奉公をしてゐるのはいふまでもないが、いよいよ國政にも參與するといふ黎明期を迎へたことは現在の朝鮮が直接國政のうへにもお役に立つ道が開かれるもので、われらの歓びは素より一面半島同胞の責務がいよいよ重きを加へることになつたわけです。國政に參與する以上政治的訓練を積むことが必要で半島人が自覚と精進をもつて一日も早く國政のうへに大きな成果を□し得ることと致したい。

香川光郎氏（半島文壇の耆宿）

半島民衆の処遇改善を國家が國策として考慮して下さつたことは全く感激の至りで[、]今回の政治処遇問題にしても未だその内容はわからぬにせよ聖戰勃発以來軍人軍属として或は應徴士として寄與し來つた半島人が今度は政治的にその脳味噌を動員する段階に至つたものであり[、]半島人の政治力を國家に反映する意味でその責務も決して軽くはない[。]國政に參與する以上統制に半島人の戰力寄與が政治面を通じて増大しなければならず、ともに日本人的自覚に徹し一層の御奉公を期すべきはいふまでもない。

1. 1945年3月18日付『朝日新聞』中鮮版 [↑](#footnote-ref-1)